宝 達 中 プライド

２０２２年１０月３日
No.　８

～ 21世紀をしなやかにたくましく生きるため、さらなる高みを目指して何事にも取り組む生徒の育成 ～

宝達志水町立宝達中学校
Tel28-3121

＜校訓:「自主」「剛健」「敬愛」＞

ホームページアドレス: http//cms1.ishikawa-c.ed.jp/houdaj/　メールアドレス ：web-hc@hodatsushimizu.jp

１０月　秋です

暑かった夏も終わり、めっきり涼しくなってきました。秋と言えば、スポーツの秋、読書の秋、食欲の秋、実りの秋というようにいろんな○○の秋があります。季節的には過ごしやすく、充実した時期ではないでしょうか。学校では、3 年生、2 年生の修学旅行、1 年生の金沢自主プラン、部活動の羽咋郡市新人大会が行われました。この後も、いしかわ道徳教育推進事業推進校としての研究発表会や宝中祭、部活動の能登地区新人大会等が予定されています。まずは５日、６日に行われる中間テストに集中してください。生徒の皆さんにとっても実り多い秋になってほしいと思います。

＜大切にしてほしい三つのことば＞

「はい」「ありがとう」「すみません」の三つのことばを日頃から使っているでしょうか。学校では、この三つのことばが当たり前に場面ごとに使われていますが、残念ながら中には返事ができない生徒や感謝のことば、反省のことばを言えない生徒がいます。この三つのことばは、その人の心を表すことばだと思います。また、敬語を使うことができない生徒もいます。今のうちから正しいことば遣いが出来るようにしておきましょう。

「親しき中にも礼儀あり」の心を忘れずに。

・「はい」という返事は、素直な心を表します。
・「ありがとう」は、感謝の気持ちを表します。
・「すみません」という言葉は、謙虚さや自己を反省する気持ちを表します。

【大会に向けて心掛けてほしいことを紹介します】

スポーツの試合、文化面での表現、演技などをパフォーマンスと言います。パフォーマンスは、そのときの心の状態や考えていることで、同じ時間、同じことを行っていても大きな違いとなって表れます。大会等で安定した心を保ち、高いパフォーマンスを発揮するために必要だと考えられていることが以下のことです。実践してみてください。

＜機嫌をよくすること＞

機嫌がよい方が、パフォーマンスが上がり動きがよくなります。いいアイデアも浮かびます。逆に不機嫌だとあまりよいパフォーマンスは発揮できないそうです。朝も機嫌良く、元気なあいさつをしましょう。

＜今に生きると考えること＞

過去や未来にとらわれない。「あの時○○すれば。○○になったらどうしよう。」等、心が揺れ動かないように、終わったことや結果を考えないで、今やるべきことに集中しましょう。

＜ありがたいと考えること＞

文句や愚痴を言っている間は、心は安定していません。「ありがとう」と感謝の気持ちをもち、そして自分の心を整えてください。

１０月１２日（水）にいしかわ道徳教育推進事業推進校として授業研究発表会が開催されます。他校の先生方が参観に来校する予定となっています。全学級の道徳科の授業を公開します。研究主題を「多様な価値観との繋がりから自己をみつめ、よりよく生きようとする生徒の育成」とし、学年ごとに重点項目を決めて取組をこれまで進めてきています。発表会当日はその授業の一端をお見せすることになります。

生徒自身が繋がりを意識し、異なる視点や立場で考え、議論する姿が授業の中で見られればと思っています。

各学年フロアーの掲示物





【各種大会　表彰伝達】

8月20日(土)	【環境月間ポスターコンクール】 優秀賞:北野有理奈
9月4日(日)	【第42回折口父子記念短歌大会】中学生の部 特選:辺井ひなた　　秀逸:窪田怜奈 佳作:佐古七海、佐野愛友、西口　結、濱野翔琉、松川　奏
9月10、11日 (土・日)	【羽咋郡市中学校新人体育大会】 サッカー　優勝 バスケットボール （男子）　2位　　（女子）　優勝 ソフトテニス （男子）　団体　優勝　　個人　2位　近岡・坂下 個人　3位　伊藤・岡山 （女子）　団体　優勝　　個人　優勝　山本・小酒 個人　3位　林・北 個人　3位　林・中村 女子バレーボール　3位 剣道　女子団体　優勝 個人2年の部　　2位　番坂遥陽　3位　米田乃々佳 個人1年の部　　3位　北山小百合 柔道　個人戦男子二部　　2位　岡田淳希

入賞おめでとうございます

◇ユニセフ(国際連合児童基金)出前授業が行われました(3年生)

9月27日(火)に石川県ユニセフ協会の方をお招きして出前授業が行われました。わたしたちの持続可能な未来のために何ができるかを考える機会となりました。

「すべての子どもに、［　　］を。」［　　］にどんなことばが入りましたか。

子どもたちの命と健やかな成長を守るために活動している国連の機関について知る機会となったでしょうか。

